

ボストン日本語学校 35周年記念

題字 増淵 興一 名誉校長



ボストン

運営委員会各種委員会  
広報IT委員会活動報告

ボストン日本語学校広報IT委員会

広報IT委員会は本校運営委員会各種委員会の一つで、学校から発信する情報を管理することが役目です。

これまでの取組みはニュースレター、休校連絡のWEB掲示など「学校活動の効率化」を目的にしたもの。これから入学を検討される方へのホームページによる「学校活動の広報」を目的にしたもの。大きくこの二つになります。

ところで、私たちのこの学校は開校以来の万々な歴史を有し、規定数以上の生徒がいることで政府から運営資金の援助を受け、幸運なことにお二人の教育のプロフェッショナルも派遣されています。しかしながら、非営利団体であるこの学校は、私たち一人一人が支払う授業料にそのほとんどを頼っており、毎年ピンポイントでの収支管理をしている状況も皆さんご存知のことと思います。予測がつきにくい毎年の生徒数。繰越金がほとんどない、その年の限られた原資など、裏方での運営にも苦労があります。

そもそも私達共通の目的は何でしょうか。子供達を日本の教育に触れさせてあげたい、日本のアイデンティティーの上で同じ境遇の友達と触れ合いができる環境を作ってあげたい。この辺りが私たち保護者の一番上位の希望ではないでしょうか。

さて現在のインターネット環境の普及に鑑み、広報IT委員会としては今後も冒頭で紹介した二つの活動の柱を進めて参ります。また、ここまでお話ししたように、この学校を取り巻く環境にも十分思慮を尽くしていきたいと思えます。

本年度から本校ではペーパーレス化を導入いたしました。先生方が毎週手塩にかけて作って頂

いている宿題の手書きのぬくもりこそ上質の教育の一端であると疑いませんし、当校は世界的にみてもマンモス校です。なかなか一長一短ではいけないものです。もし何かアイデアをお持ちであれば是非教えてください。皆で一緒により良い環境にしていきたいと思います。

(E-Mailは、[it.committee@jlsboston.org](mailto:it.committee@jlsboston.org)まで)



お知らせとお願い

授業参観・学級懇談会について

本日「平成22年度 授業参観及び個別懇談会の開催について(ご案内)」を配付いたしました。万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますよう、よろしくお願ひいたします。なお、年中すみれ組については、3学期に予定します。詳細については後日ご連絡いたします。



テレビ局CH7による休校情報等の配信について

テレビ局CH7から、休校情報等の配信サービスに関するご案内が届いておりますのでお知らせいたします。詳細につきましては、本日配付した案内をご参照ください。登録及びご利用につきましては、補助的な情報伝達手段であることをご理解の上、登録者の責任において行っていただきますようお願いいたします。また、本校では、登録に関するサポートはできかねますのでご了承ください。なお、ボストン日本語学校は、以下の名称/タイプで登録されています。

名称 Japanese Language School

タイプ Private Schools

お問い合わせ先

E-mail [webmaster@whdh.com](mailto:webmaster@whdh.com)

TEL 1-877-316-5990

## 創立35周年記念文化祭開催のお知らせ

文化祭実行委員会

来週、10月30日に文化祭が開催されます。文化祭のゲーム等に参加するためには、「チケットシート」が必要です。「チケットシート」は、当日に各担任の先生から、生徒全員に配付されます。忘れずにお持ち下さい。「チケットシート」には、名前を記入して下さい。

当日は、創立35周年記念トートバッグも配付されます。「チケットシート」や景品を入れるために、このトートバッグも一緒にお持ち下さい。

ティーンズコーナーでは、中高生が、くじ引き、お菓子すくい、綿菓子屋さん等の模擬店を開店します。これらの模擬店では、それぞれ、50セントお支払い頂くことになっています。小銭をご用意下さい。模擬店の売り上げは、PTAに寄付されます。

文化祭の内容の詳細は、本日配付の「文化祭のお知らせ」をご覧ください。

日時:10月30日(土) 12:30~14:15

(バークセールは:11:00~12:30)

場所:ボストン日本語学校

お問い合わせ:PTA@jlsboston.org



## 学校作品集「ボストン」写真撮影の日程について

学校作品集「ボストン」掲載用写真撮影の日程が次のようになっています。

撮影の時にお子さんが欠席されると、学校作品集ボストンには写真が掲載されませんので、ご了承ください。(学級は撮影順になっています)

<10月23日(土)>(今週)

1時間目…幼稚部年少～年長(すみれを除く)

2時間目…なし

3時間目…4-1、4-3、6-2、中1-2、中3-2、高1

<12月11日(土)>

1時間目…小低

2時間目…なし

3時間目…小低・幼すみれ

※ 高2は学年で別途対応する。

※ そのほかの学級・学年は撮影を終了しました。  
ご協力ありがとうございました。

## 子どもの広場 中学1年生

「大人になれなかった弟たちに……」を学習して、自分自身の心に残る、物語からのメッセージを小作文にしました。

「戦争の間の子供たち」

池辺 光

本を読んで今の日本からは想像できない戦争の時代が昔あった事を知り、自分が経験できない戦争というものを考えるきっかけになった。

今の世界を考えると、アメリカの子供も、日本の子供も、勉強は大変だけれど、平和で食べ物にも遊びにも不自由しないし、家族も皆元気でぼく達のまわりにいる。戦争中にはお父さんは戦争に行き、いないだろうし、食べ物もない。命も危険にさらされる。現代でも、アフガニスタンでは戦争に巻き込まれている子供がいる。

この話の中に出てくる子供たちは僕たちには想像できないような生活をしている。ミルクも満足にのめないで死んでいく子。お菓子も食べられない主人公。平和で全てが手に入る生活をしている僕たちには、この子供たちの気持ちは本当には理解できないだろう。でも、この物語を読むことで、少しでも戦争のもたらすことを考えるきっかけになった気がする。



「大人になれなかった弟たちに…」 井上 かれん

私が受け取ったことは、戦争がどれだけ人を苦しめたかということです。食べ物が十分になく、子供たちはどんどん死んでいきました。これは戦争があるから、今でも続いています。人間みんなが、何かに欲を出しすぎると争いになります。そして、関係の無い人まで巻き込まれてしまいます。今でも、世界中でたくさんの家族が悲しんでいます。私は、戦争がなくなることを心から願っています。

「戦争から伝わったこと」 大塚 創太

65年前、そんなに昔ではない時に戦争があったことはおどろきだった。ぼくの祖母は現在70才。祖母が小さなころに戦争があったのだとすると、そんなに遠い昔のことではない。実際、祖母も東京から長野に疎開したそう。戦争中の国民は苦しみ、つらい思いをしたことを改めて考えてみた。食べ物が無い、服が無い、家や兄弟をなくす、こんなことは今のぼくには起こらない。しかし、どんなに苦しいことかは伝わった。どれだけ苦しいことかは本当に経験しないとわからないが、戦争は二度と起こしてはいけないと強く感じた。



「平和は大切に」 徳王 萌々子

「戦争はなんて悲しくて辛いことだろう」と、私はこの物語を読んで思いました。このお話を読んで、毎日おなか一杯になるまで食べて、家族みんなで住んでいる私がとても幸せに感じました。甘いものがない生活は、今では信じられません。「大人になれなかった弟たちに…」を読んで、みんなも私と一緒に平和を大切にしようと思えてもらいたいと思います。

「戦争中の子供たち」 宮本 彩香

『大人になれなかった弟たちに…』を読んで、戦争は絶対にあってはならないことだと思いました。子供たちは十分に学ばず、家族がみんな食べるための食料もありませんでした。それに加えて、多くの命が失われ、悲しみを死と共にもらいました。とても悲しいお話でしたが、心に残る物語でした。

「戦争は怖い」 安西 広之

僕は、この本を読んで、戦争は、とても怖いことだと知りました。それは、幼い弟が、栄養失調で死んだり、今まで住んでいた都会の家から空襲のために田舎に疎開したり、また、幼い子供が三人もいるのにお父さんが戦争に行き家になかったりするからです。

今も、世界のいろいろな国で、戦争が起こっているけど、今すぐ戦争をやめて、みんなで協力し合って平和に暮らすべきだと僕は強く思いました。

「未来の人々のためにも」 李 アリソン

「戦争で死んでしまった子供たちは悪くなかった。単に大変な時代に生まれてきてしまっただけ」と、私は米倉斉加年さんの物語を読んで思いました。争いさえなかったら、地球はもっと平和な場所だと思います。あの血みどろの太平洋戦争で死んでしまった人々のためにも、もう戦争は二度としない方がいいと思います。

私が受け取った『大人になれなかった弟たちに…』からのメッセージは、「戦争で死んでしまった子供達よ、安らかに眠ってください」と、「未来の子供たちがこの悲しい運命に陥らないように戦争はもうやめて下さい」の2つです。

